資料3

業務実績報告書の様式について

(以下項目抜粋)

細項目 | - | - 4

認知症の専門医療の提供

こころの医療センター駒ヶ根は、認知症疾患医療センターにおいて、地元市町村、関係機関等と 連携し、認知症に関する専門医療・専門相談を提 供する。

阿南病院及び木曽病院は、認知症に対する医療 需要へ対応するため、診療及び患者や家族の相 談・支援体制を充実する。

【令和5年度に推進する事項】

- ・認知症疾患医療センターとして、認知症初期集 中支援事業への参画を拡大(駒ヶ根)
- ・院内デイサービスの対応時間や内容等の充実を 図り、入院生活の質を向上(阿南)
- ・認知症疾患医療センター(連携型)として、認 知症医療を充実(木曽)
- ・認知症ケアチームとの連携した療養型病棟での 院内デイの充実(同上)

(指標毎の評価)	機構全体	2	4	2	ı	0	В
して計画し							

(1)

専門医療相談件数(件) 病院 今年度 前年度 計画 評価 駒ヶ根 2,110 1,541 S 木曽 61 32 S

2

認知症に関する研修会の開催回数(家族向け)(
	病院	今年度	前年度	計画	評価		
	駒ヶ根	- 1	- 1		Α		
	木曽		- 1		Α		

(3)

物忘れ外来件数 (件)

1870-1971 50 (11)						
病院	今年度	前年度	計画	評価		
駒ヶ根	1,712	1,700		Α		
木曽	727	776		В		

(4)

認知症の鑑別診断等実績(件)

心心症の短刃の町寸天順(叶)						
病院	今年度	前年度	計画	評価		
駒ヶ根	325	296		Α		
木曽	90	83		Α		

(5)

相談業務(院外)(件)					
病院	今年度	前年度	計画	評価	
阿南	93	118		С	

指標に対する

0

0

各病院等からの説明コメント 補足事項などがある場合に記述

【指標に対するコメント】

●駒ヶ根

説知症疾患医療センターの相談体制を充実させたことにより、専門医療相談件数が前年度よりも大きく増加

【自己評価】

●こころの医療センター駒ヶ根

・認知症地域包括ケア等を推進するため、「認知症疾患医療センター研修会」をハイブリッドで開催 (136人参加)

●阿南病院

・院内デイサービスの対応時間や内容等の充実を図り、入院生活の質を維持した。

●木曽病院

(指標毎

の評価)

・専門医療相談61件、物忘れ外来727件対応。地域住民を対象に認知症フォーラムを開催。

細項目1-1-5

細項日 I - I - 5 介護サービスの提供

あれば記述

阿南介護老人保健施設、木曽介護老人保健施設 は、在宅復帰に重点を置いたサービスを提供する。

指標以外の取組で記述すべきものが

阿南病院は、訪問看護ステーションの運営を行い在宅医療・介護サービスを提供する。

木曽病院は、介護医療院の運営を行い介護ニー ズに適切に対応する。

【令和5年度に推進する事項】

- ・訪問看護ステーション事業所への移行に向けた 検討(信州・木曽)
- ・関係機関と連携し、介護ニーズに対応した訪問 看護ステーションの安定的な運営(阿南)
- ・地域及び利用者家族のニーズに応え、利用者を確保し介護老人保健施設の経営を安定化(阿南・木曽)

① 介護老人保健施設利用実績(人)

機構全体

THE CONTRACTOR OF THE PROPERTY						
病院	今年度	前年度	計画	評価		
阿南	13,122	15,001		В		
木曽	15,412	15,786		В		

(2)

訪問看護ステーション利用実績(利用者数)(人)						
病院	今年度	前年度	計画	評価		
阿南	2,167	2,533		В		

(3)

介護医療院利用実績(患者数)(人)						
病院	今年度	前年度	計画	評価		
木曽	5,212	5,889		В		

【自己評価】

●阿南病院

- ・新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、計画した活動ができなかったが、レクレーションを充実させることで利用者のニーズに対応した。
- ・当院による運営4年目となる訪問看護ステーションさくらの安定的な運営に努め、下伊那南部地域 の在字看護の体制を維持
- ・在宅復帰率の向上や在宅訪問を進め、基本サービスの施設基準について、「在宅超強化型」の単位 数を算定
- xx c 开た ・科学的介護推進システム(LIFE)へのデータ提出により、「栄養マネジメント強化加算」「通所リ ハマネジメント加算」「科学的介護推進体制加算」を算定
- ・老健でのターミナルケア加算の算定方法を整備し、老健内で看取りを開始

●本色症贮

・老健は超強化型を維持。介護医療院では他職種との連携強化によりニーズに応じた生活支援を実施。また、訪問看護ステーション開設に向け検討し、6年6月の開設が決定。